

東急不動産 HD 第 30 回無担保社債（サステナビリティボンド）

2024 年度レポートニング結果

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典）は、2023 年 6 月 1 日に発行いたしました東急不動産 HD 第 30 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）について、2024 年度のレポートニングを行いました。

■ 資金充当状況

本グリーンボンドによる調達資金 （発行諸費用の概算額差引後）	充当済金額
9,947 百万円	九段会館テラスの設備資金にかかるリファイナンス ：9,947 百万円

■ 九段会館テラス

九段会館テラスは地上 17 階、地下 3 階、延床面積約 68,000m² のオフィス・商業施設等の複合用途施設として、2022 年 10 月 1 日（土）に開業いたしました。「水辺に咲くレトロモダン」というコンセプトのもと、登録有形文化財建築物である旧九段会館を一部保存しながら、最新テクノロジーの活用や企業の健康経営など、現代の様々なニーズを具現化し、建て替えたレトロモダンな施設です。

・森林保全/自然保護に対する取組状況

正面玄関前には、外部との交流を生む緑豊かな広場として「九段ひろば」を設置しました。都心のオフィスビルながら、様々な人が能動的に関わることのできる緑地デザインは、公益財団法人都市緑化機構が主催する「第 32 回緑の環境プラン大賞」緑化大賞（シンボル・ガーデン部門）を受賞しました。

・九段会館テラスの環境への取り組み

DBJ Green Building 認証 5 つ星（five stars）

日本政策投資銀行が、環境・社会への配慮が優れた不動産を認証する「DBJ Green Building 認証」において、国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビルとして認証されました。



いきもの共生事業所®認証（ABINC 認証）

生物多様性保全に配慮した緑地を進めていることが認められ、「ABINC 認証（いきもの共生事業所認証）」を取得しました。



江戸のみどり登録緑地（在来種植栽登録制度）

東京に自然分布している植物（在来種）の植栽を通して、昆虫や鳥などの動物も含めて、東京の生きものに適した環境を回復させるための取り組みを実施していることから、在来種植栽登録制度「江戸のみどり登録緑地」に登録されています。



・インパクトレポーティング(2025 年 3 月 31 日時点)

エネルギー使用量（GJ）（実績値） 2024 年 4 月～2025 年 3 月 79,614GJ（※）

CO2 削減量（t-CO2）（想定値） 1,646t-CO2

延床面積当たりの CO2 削減量（kg-CO2/m²）（想定値） 25.48kg-CO2/m²

水使用量（m³）（実績値） 2024 年 4 月～2025 年 3 月 30,101 m³（※）

（※）持分換算後の値

以上